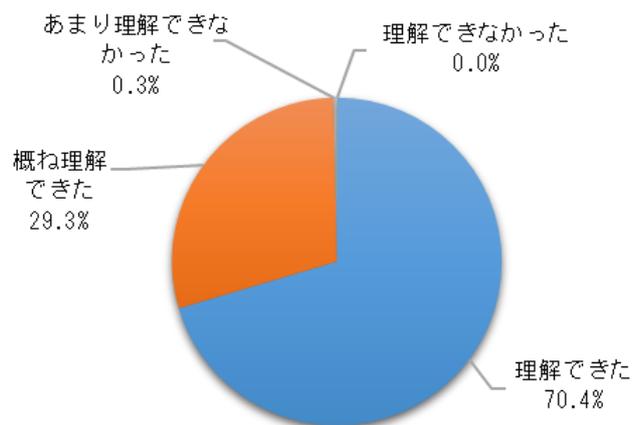


令和4年度大阪市職員人権問題研修（所属別） 受講者アンケート集約

- ・実施期間：令和4年12月15日～令和5年1月13日
- ・対象者：全職員 24,781名 ※育児休業等長期休業者は除く。
- ・受講者：24,781名 受講率：100.0%（令和3年度：99.3%）
- ・アンケート回答者：24,025名 回答率：96.9%（令和3年度：98.0%）

問1 研修内容について、理解できましたか？

	回答数	割合
理解できた	16910	70.4%
概ね理解できた	7036	29.3%
あまり理解できなかった	68	0.3%
理解できなかった	11	0.0%
合計	24025	100.0%



※「理解できた」「概ね理解できた」：99.6%

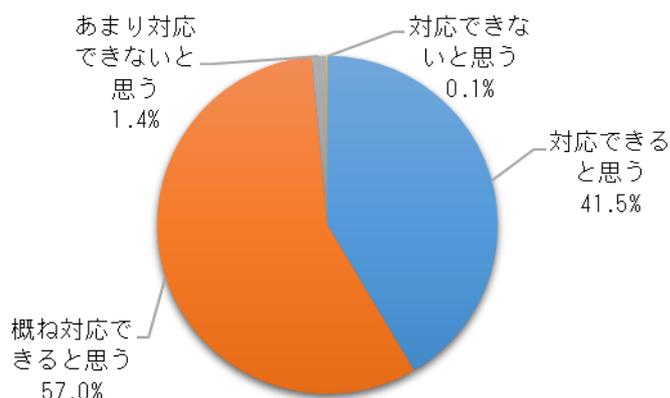
問2 研修資料の量（ボリューム）は適切でしたか？

	回答数	割合
適切であった	21797	90.7%
多かった	2052	8.5%
少なかった	171	0.7%
合計	24020	100.0%



問3 差別落書き等の差別事象が発生した場合、
適切に対応できると思いますか？

	回答数	割合
対応できると思う	9969	41.5%
概ね対応できると思う	13690	57.0%
あまり対応できないと思う	334	1.4%
対応できないと思う	26	0.1%
合計	24019	100.0%



※「対応できる」「概ね対応できる」：98.5%

問4 問3で、「対応できない」と思う理由を、記述してください。

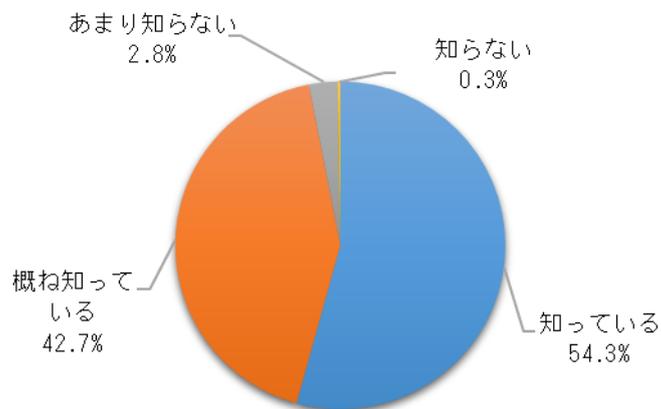
(問3で、③④を選択した場合のみ回答)

※主な回答

- ・ 此れまでに同和関係について取り組んだ経験が無い事から、直ぐには対応ができない。
- ・ 窓口や電話で差別発言をしてくる相手への対応は難しそうに思う。
- ・ 差別的発言の背景の聞きだしや、意識啓発については今の自分の知識では誤った説明等をしてしまいたいそうと感じるため。
- ・ 差別発言をする人は正義と思い込んでいるため説得は困難と考える。怒らせるだけで解決にならないと思われる。
- ・ 毅然とした態度で一切回答をする必要はないということであるが、どう啓発すればよいかわからない。
- ・ 研修資料では具体的な対応方法がわからなかったため。
- ・ 現在いる部署では頻繁に起こる事案ではないので問い合わせ等で来た場合対応できるかは分からない。
- ・ 電話や窓口での対応は難しいので自信がない。相手に理解または納得させることは難しい。
- ・ 対応部署に所属している可能性が極めて少ない為。
- ・ 実際の場面になったら戸惑い対応できない事態になると思う。
- ・ 落書きが差別落書きかどうかの判断が難しい。知識が必要。
- ・ 特に電話での対応において、相手に差別事象の啓発を行えるほどのスキルや話術に自信がない。

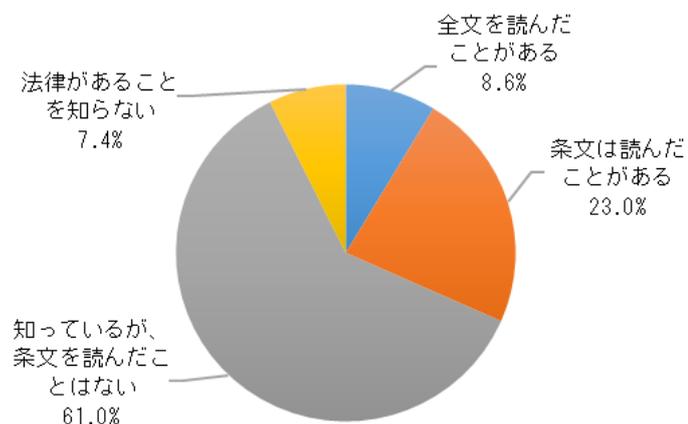
問5 あなたは「同和問題（部落差別）」とは何かを知っていますか？

	回答数	割合
知っている	13039	54.3%
概ね知っている	10251	42.7%
あまり知らない	669	2.8%
知らない	62	0.3%
合計	24021	100.0%



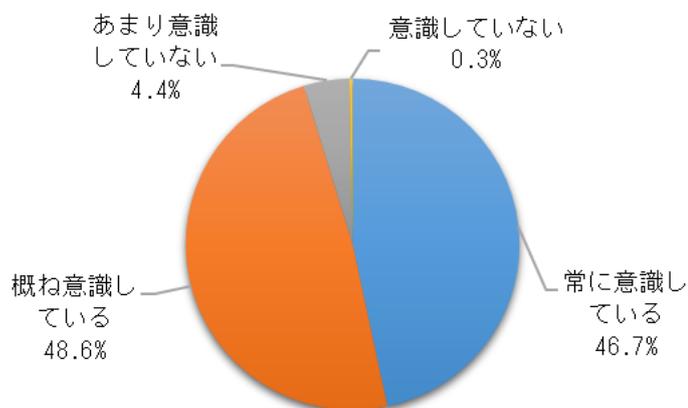
問6 あなたは「部落差別の解消の推進に関する法律」を知っていますか？

	回答数	割合
全文を読んだことがある	2073	8.6%
条文は読んだことがある	5525	23.0%
知っているが、条文を読んだことはない	14649	61.0%
法律があることを知らない	1770	7.4%
合計	24017	100.0%



問7 あなたは日々の業務を推進するにあたり、
人権の視点を常に意識していますか？

	回答数	割合
常に意識している	11208	46.7%
概ね意識している	11677	48.6%
あまり意識していない	1061	4.4%
意識していない	73	0.3%
合計	24019	100.0%



問8 今回の研修について、良かった点があれば、記述してください

※主な回答

- ・ 具体的事例をわかりやすく提示してあり、対応の方法がイメージできた事が良かったです。
- ・ 文章が簡潔で読みやすかった。
- ・ 落書き等を発見した際の対処方法（証拠写真の撮影方法）が写真で掲載されており分かりやすかった
- ・ 実際に起こりうる想定を上げて、分かり易く説明してあり、業務に直ぐに役立つものであった。
- ・ パワーポイントで見やすく、また理解度テストも実施しやすい内容でした。
- ・ 実務と関連付けた問題が多く、イメージしやすかった。
- ・ 差別落書き等の差別事象が発生した場合の適切な対処法が具体的に書かれていたのが良かった。
- ・ 再認識の機会になった。丁寧な内容で対応への理解が深まった。
- ・ 最後に問題があり、知識が定着するのでよかったです。
- ・ 差別に対する対応を今までしたことがないが、対応方法とその根拠などを知ることができた。
- ・ 落書き発見時の具体的なアクションや順序が書かれていた。
- ・ 研修内容がまとめられて分かりやすく、確認テストで効果的な振り返りが出来てとても良かった。
- ・ 差別発言を行う行為者への接し方について、相手の背景を聞き取ることの重要性を学びました。

問9 今回の研修について、良くなかった点があれば、記述してください

※主な回答

- ・ eラーニングシステムを利用して行ったほうが、周知漏れがなくよかったように思います。
- ・ どのような落書き等が「差別落書き等」にあたるのか、研修資料で明示されていない点。
- ・ 人権問題＝同和問題のように感じる。人権とは何か、深く考えることが必要ではないか。
- ・ 電話・対面にての対応は、そもそも部落差別の歴史等をどこまで学んだか分からない職員には危険かと思えます。
- ・ 情報量が少なすぎて実際に事が起こった時に十分な対応はできないと思いました。
- ・ 差別的な言葉を知らない場合、目撃しても適切に対応できない（気付けない）かもしれない。
- ・ 対応方法が単純化されすぎていてうまくいかないと感じる。
- ・ 窓口や電話でのやり取りは、どのような説明や会話をすればよいかもっと具体的に記載しないと、実際に対応するのは難しいように思います。
- ・ 自主学习だけでは完全に理解するのは難しい。
- ・ 実際に起きている事例などがあれば、より現実味があって伝わりやすいと思う
- ・ 今までにあった差別落書きについて、起こった内容とその事象にどう対応したかなどを知りたいと思いました。
- ・ 対応方策ではなく、もう少し具体的な想定QAのような形でお示ししてもらえると助かります。